

様式 2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP 公開 ( 可・否 )

区 分	1.森づくり 4.森と暮らし	②森の恵み 5.森の文化財	3.森と技 6.森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 狩猟	(ふりがな) しよりょう	
地域独特の呼び方	ウサギ猟、ウサギ追い		
タイトル	小動物の猟 (ウサギ猟)		
伝承地域	南相馬市鹿島区、南相馬市原町区		
由 来			
内 容	<p>山野には「野ウサギ」とか「山ウサギ」と呼ばれる野生のウサギが生息している。これを獲る猟をウサギ猟という。</p> <p>ウサギは夜間、笹をきれいに食べながら歩くという性質がある。そこでこの習性を利用する猟が行われていた。</p> <p>針金で握りこぶしほどの大きさの輪を作る。これをツボという。夜間、針金のツボをウサギが通る通り道にかけておく。するとツボの輪の中に頭を突っ込んでかかっているの、これを獲る。</p> <p>タワラボッチを投げ上げて獲る方法もある。タワラボッチというのは米俵の両端にあてる当て蓋にするものである。ウサギのいる上空めがけてタワラボッチを投げ上げる。ウサギは上空からタカやトビが襲ってきたと思い、木の根元などに逃げ込んで動かずにいる。これを生け捕る方法である。</p> <p>降雪のある会津地方では木の棒を投げ上げるもので、これを「ベイ投げ」という。初雪が降った次の日の風のない晴れた日がよいという。</p> <p>ウサギ追いといい、雪が降ったあとに行った猟である。5、6人が共同して捕る方法である。タツミ (立見) と称して、3、4人が逃げて来るウサギを捕る役になる。一人がウサギの足跡を追ってタツミのいるほうに大声で追い込んでいき、逃げてきたウサギをタツミがつかまえる。</p>		

	<p>原町市大原ではウサギ追いをした。春先 2 月から 3 月ころの          猟で、30 人くらいの人が集まって行った。</p> <p>セコ（勢子）が棒を持ってヨイヨイと騒ぎながらウサギを追          い上げる。タツミはウサギの向かうほうに待ち構えている。タ          ツミの前にウサギが来ると、タツミはウソ（口笛）を吹く。す          るとウソをタカの鳴き声と勘違いしてウサギが立ち止まる。こ          れを捕まえる方法である。</p>
文化財等の指定状況	
問い合わせ先	『鹿島町史 6 民俗編』（2004 年 3 月 相馬郡鹿島町） 『原町市史 9 特別編Ⅱ 民俗』（2009 年 3 月 原町市）

【継承活動を行っている方がいる場合】

個	氏名（ふりがな）		※顔写真ありまし たら、コピーか電 子ファイルをご恵 与願います。（
	性別・年齢	男 ・ 女	
	生年月日	明治・大正・昭和・平成 年生	
	住所・電話	〒 電話	
	職 業		
団 体	団体名（ふりがな）		
	代表者氏名（ふりがな）		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日	
	問い合わせ先		電話

【フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

キーワード

※活動の様子が分かる資料等があればコピーを 1 部ご恵与ください。